

(別記)

2020年度知立市地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本地域は、市街化調整区域の水田における担い手への利用権設定が50%を超える一方で、相続税納税猶予の水田が各区域にみられ集団化に影響を与えている。

主食用米の作付面積は、配分される生産数量目標の面積換算値を10%程度下回る約60%で、転換作物である麦・大豆はブロックローテーションにより集団化され、約40%作付されている。

耕作者の高齢化や世代交代等により、作付をしない自己保全の水田が毎年発生し、水田への作付面積の減少が懸念される。

また、麦・大豆を作付した水田については、連作による地力の低下を防止する必要がある。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

畑作物の少ない本地域においては、農業の基幹作物に位置付ける。

地域の栽培暦に準じた栽培を行い、その栽培履歴を記録し、地産・地消及び安心・安全な米作りに取り組む。

施肥の見直し及び農薬使用の低減により、農地に負担の少ない環境にやさしい米作りに取り組む。直播栽培の拡大や品種別の団地化を推進し、労働時間の削減や経営規模の拡大により生産コストを削減する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、飼料用米を転換作物として位置づけ生産の拡大を図る。

主食用品種で取組みを始め、需要動向や種子の供給状況を見ながら、多収品種の導入を検討する。

(3) 麦、大豆、飼料作物

本地域では、水田活用する作物として、麦・大豆が多くを占めている。

ただし、麦・大豆の品質や収量が主に自然要因から影響を受けるため、優良な品種を順次導入し、品質向上や収量増量に結びつける。

麦については、産地交付金を活用して、土壌改良剤及び肥効調整型肥料の施用を推進し、生産性向上に取り組む。さらに、農林61号より品質・収量ともに優良な新品種を平成26年産から本格的に導入し、作付面積を拡大した。

また、ブロックローテーションを継続し、品種の選定・固定化、高性能機能の導入やその効率的な活用により低コスト化を実現する。

大豆については、奨励品種の中から作付時期の異なる優良な品種を選び、適期に播種・収穫を行い、集団化・ブロックローテーションを堅持し、土づくり・排水対策の強化により立枯病湿害等を防ぎ収穫量の安定を図る。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

ブロックローテーションに向かない小規模な水田を活用し、野菜等を栽培し、経営の安定と耕作放棄の防止を図る。

野菜では、「マコモタケ」等地域で振興する野菜に対して助成をする。

花き・花木では、「ほおずき、ケイトウ」等に対して助成をする。

その他、加工用青刈り稲に対して助成をする。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha) 2019	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	165	180	180
飼料用米	3.2	12.0	12.0
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS用稲			
加工用米			
備蓄米	2	1.2	1.2
麦	118	124	124
大豆	91	108	108
飼料作物			
そば			
なたね			
その他地域振興作物	1.05	1.2	1.2
野菜	1	1.1	1.1
花卉・花木	0.05	0.08	0.08
その他	0	0.01	0.01
.			

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	麦 （基幹作）	麦の収量の増量、生産 性向上のための取組 みに対する助成	単収	（2019年度） 513kg/10a	（2020年度） 420kg/10a
2	大豆 （二毛作）	大豆の二毛作への助成	委託率	（2019年度） 75.5%	（2020年度） 82%
3	麦、大豆 （基幹作）	土づくりへの助成	麦単収 大豆単収	（2019年度） 513kg/10a 70kg/10a	（2020年度） 420kg/10a 128kg/10a
4	野菜 （基幹作）	高収益作物（野菜）への 助成	取組面積	（2019年度） 1.068ha	（2020年度） 1.1ha
5	花き、花木、加工用 青刈り稲 （基幹作）	地域振興作物（花き・花 木等）への助成	取組面積 （花き・花木） （加工用青刈り稲） （計）	（2019年度） 5a 0a 5a	（2020年度） 7a 1a 8a
6	飼料用米 （基幹作）	飼料用米への助成	取組面積	（2019年度） 3.2ha	（2020年度） 12.0ha
7	飼料用米（基幹 作）	複数年契約（飼料用 米）への助成	取組面積	（令和元年度） —	（令和2年度） 4.0ha
8	麦、飼料用米、野 菜、花き・花木 （基幹作）	転換作物拡大加算対象 作物への助成	作付面積 「麦」 「飼料用米」 「野菜」 「花き・花木」 計	（令和元年度） —	（令和2年度） 7,000a 400a 100a 7a 7,507a
9	野菜、花き・花木 （基幹作）	高収益作物等拡大加算 対象作物への助成	作付面積 「野菜」 「花き・花木」 計	（令和元年度） —	（令和2年度） 100a 7a 107a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり